

多賀城高等学校

校訓 さとく ゆたかに たくましく



1 基本データ

創立：昭和51年
課程・学科：全日制課程・普通科、災害科学科
生徒数：828名
所在地：〒985-0831
多賀城市笠神二丁目17番1号
TEL：022-366-1225
FAX：022-366-1226

ホームページアドレス：
<https://tagajo-hs.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
tagajo-hs@od.myswan.ed.jp
主な交通機関
JR仙石線 下馬駅下車 徒歩20分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

誰にでも未来を創る能力がある

本校では「さとく・ゆたかに・たくましく」の校訓のもと、生徒と教員が「誰にでも未来を創る能力(ちから)がある」ことを共に確信し、これからの厳しい社会を生き抜いていくための土台となる「最後まで諦めずに頑張る力」の育成を目指して、進路目標達成を実現できるよう全力でサポートします。

(1) 学校の概要(沿革、環境)

仙台市の北東部に隣接する史跡の街、多賀城市に昭和51年に創設された全日制高校で、1～3学年普通科6クラス(240名)、災害科学科1クラス(40名)編制、男女ほぼ1:1の共学校です。

JR仙石線下馬駅より徒歩20分の距離にあり、閑静で緑豊かな環境に立地しています。

(2) 教育方針

21世紀を担う人物の育成という観点に立って、高い知性、豊かな情操、すぐれた徳性、強い意志と強健な身体をもち、広い視野をもって社会、国家に貢献する人物を育成することを方針としています。

次の3つの教育目標を定めています。

1 知性の伸長(さとく)

自己のもつ可能性を見出して、その伸長と実現を図るとともに、真・善・美を追求し、常に広く調和のとれた教養を身に付けるよう努める。

2 人格の尊重(ゆたかに)

正しく自己を愛し、他も愛する豊かな愛情を育て、社会に奉仕する精神を養い、互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。

3 心身の健康(たくましく)

心身の健康こそはすべての生活の根拠である。清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え、明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志と強靱な体力を身に付けるよう努める。

(3) 教育課程の特色

原則月・火・木曜日は7時間授業であり、水・金曜日は6時間授業です。令和6年度より、第1期に続き「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業」第2期の指定を受け、持続可能な未来を創造する科学技術人材を育成するためのカリキュラムを開発し、学際的な視点で発展的な学習を行うことで、将来科学技術を基盤とする分野で高いリーダーシップを発揮し、世界的にも活躍できる人材や地域社会を活性化するイノベーターの育成に取り組んでいます。

<普通科>

1年生では、必修科目の多くを設定し、基礎・基本を大切に学びます。2年生では、文系・理系に分け進路に合わせて地理歴史と理科での選択を設定しています。3年生では、大学進学を基本とした文理2類型及び進路や興味・関心にあわせた学校設定科目を設置しています。

<災害科学科>

自然災害を科学的にとらえる知識や技能を身に付けることを目的とし、被災後の復興を担う人材を育てることを目的として、平成28年4月に開設された新しい専門学科です。

普通科における教科・科目をベースとして科学的な学校設定教科・科目を多数組み込んだカリキュラムとなっています。

また、学外の研究機関や大学(東北大学、東北学院大学等)と連携して行われる巡検と呼ばれるフィールドワークや県外の研究施設への宿泊研修など、最先端の研究に関わる研究者との交流を持てることも特徴となっています。

(4) 行事・部活動

進路関係行事として、長期休業中の課外講習や土曜ゼミナールと大学による出前授業、社会人講話やディベートがあり、多くの学習、経験をしながらそれぞれの第一志望進路の実現を目指しています。

部活動も、「個性追求の場」として、生徒主体の意欲あふれる熱心な活動が行われており、多くの部が活発に活動しています。

<運動部>ラグビー、サッカー、ソフトテニ

ス、野球、陸上、ソフトボール、山岳、バレーボール、卓球、剣道、バスケットボール、テニス、水泳、柔道、バドミントン、弓道

<文化部> 写真、科学、合唱、軽音楽、吹奏楽、美術、茶華道、語学研究、家庭、放送、情報処理、ボランティア

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R4	R3	R2
国公立大学	52	60	57
国公立短大	0	1	1
私立大学	148	153	145
私立短大	11	9	14
専各学校	35	27	25
就職	9	8	6
その他	18	9	9
卒業生計	273	267	257

主な進路先(令和5年3月卒業生)、

()内は人数 (1)は省略。

<国公立大学>

弘前大(2)、岩手大(5)、岩手県立大(2)、東北大、宮教大(4)、宮城大(7)、秋田大(2)、秋田県立大、山形大(19)、福島大(3)、宇都宮大、高崎経済大、千葉大、都留文科大、北九州市立大、名桜大

<私立大学>

東北学院大(62)、東北福祉大(21)、東北医科薬科大(7)、東北工大(11)、宮城学院女子大(9)、東北芸工大(5)、関東学院大(2)、早稲田大 他

<短期大学>

聖和学園短大(2)、仙台青葉学院短大(9)

<専修各種学校>

仙台医療センター附属仙台看護(3)、石巻赤十字看護 他

<就職>

国家公務員、裁判所職員、多賀城市職員 初級、塩釜市職員 初級事務、七ヶ浜職員、自衛隊、ANAスカイビルサービ

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

課題研究

1学年では、課題発見・課題解決のための基本的なスキルやICT活用技術、レポートやポスターおよびグラフにまとめる力、そしてプレゼンテーション能力等課題研究の基礎を学びます。また、巡検・フィールドワーク研修・地域の方との交流会・講義・発表等さまざまな活動が用意されています。

2学年では、1学年で身に付けた課題研究の基礎力をもとに、グループ研究の実施を行います。研究途中での議論や中間発表・最終発表についての質疑応答を体験することで、批判的思考を伸ばし、議論する力や質問する力が伸長され、最終的に将来の進路を決めることに繋がってきます。普通科・災害科学科問わず、外部で行われている研究発表会にも積極的に参加しています。



吹奏楽部

全国大会金賞とお客様に笑顔や感動を届けられることを目標に、日々の練習に励んでいます。また大会参加だけでなく5月の定期演奏会の実施をはじめとして11月の多賀城市民音楽祭、12月のケアブレンドカフェ多賀城学生発表会や三井アウトレット仙台港演奏披露、中学校に訪問しての演奏指導等積極的に地域貢献をしています。

- ・全日本吹奏楽コンクール 東北大会 銀賞
- ・全日本マーチングコンテスト 東北大会 金賞
- ・日本学校合奏コンクールソロ部門 全国大会 金賞
- ・全日本中学生高校生管打楽器ソロコンテスト全国大会出場
- ・日本ジュニア管打楽器コンクール ソロ部門・アンサンブル部門 全国大会出場



(2) 3大行事

多高3大行事は、球技大会・多高祭・体育祭です。すべて有志による実行委員会が企画・運営します。そのため、行事が終わるたびにクラスの団結や学校としての一体感がうまれます。

球技大会

球技大会は6月の第1回定期考査明けに実施されます。例年クラス対抗でさまざまな競技が行われ、熱戦が繰り広げられます。各クラスでそろいのTシャツを作ることで、クラスの団結力をより一層深めることができますと大変好評です。



多高祭(文化祭)

多高祭(文化祭)でも、生徒たちが自ら企画・運営を手掛け、各クラスや各文化部の趣向を凝らしたステージパフォーマンスや模擬店、校内展示など最高の物を作り上げます。コロナ禍になる前は毎年多くの見学者が訪れ、訪れた人々すべてを魅了していました。生徒一人一人が努力と工夫とアイデアを出し合い、自分の成長を実感できる良い経験となっています。



ステージ発表で、全校生徒が盛り上がっています!!

体育祭

体育祭は毎年10月中旬に行われ、実行委員会が何週間もかけて準備を重ね、例年大盛り上がりで大成功を収めています。昨年は、3年振りに全校生が校庭に集まって、通常の体育祭に戻ることができました。借り人競争、玉入れ、五色綱引き、その他合計8つの競技を行いました。競技中は、自分の学年だけでなく他の学年の競技も応援したり拍手をしたりと、多高生の素敵な面を見ることができます。

(3) 学校制服紹介



多賀城高校の制服です。男女とも角襟でチェックのネクタイは自分で結びます。男女とも黒を基調としたブレザーで、シンプルで着やすく落ちつきのあるデザインとなっています。寒いときにはセーターかカーディガンを選ぶことができます。

(4) 施設紹介

昭和52年に落成した歴史ある校舎です。その後、コンピュータ室、トレーニングルーム、グラウンドやテニスコートの照明の設置等多くの施設・設備を新設し現在に至っています。校舎は4階建てで全面南向き、日中は窓から光が差し込み、開放感あふれる構造になっています。四月は、敷地を囲むように桜が咲き、さながら桜園の中に校舎があるように見えます。図書室だけでなく学び処と呼ばれる自習室もあり、学習するには最適な環境がそろっています。



また、野球、サッカー、ラグビー、ソフトボール、陸上などが同時に活動可能な大きなグラウンド、全7面のテニスコートを備え、恵まれた環境でのびのび活動ができます。

→こちらは自慢のiRiS Hallです。平成30年に完成した施設で、大学とかの講義室に近い感じです。授業での活用はもちろんのこと、課題研究、社会人講話、メモリアルDay等多くの行事で利用されています。右の写真は、メモリアルDay 2022です。



4 在校生からのメッセージ

[生徒会会長3年3組 吉田 理桜さん(塩釜第一中出身)から]
こんにちは、多賀城高校生徒会会長の吉田理桜です。
多賀城高校は、普通科災害科学科問わず災害を学べる、全国的にも珍しい学校です。災害科学科や生徒会執行部は、県外の高校生との交流も盛んに行っています。
また、部活動も活発で、様々な部が好成績を残しています。
多賀城高校での日々は毎日が充実していて、心の底から楽しいと思います。私たちと一緒に、この校舎で素晴らしい高校生活を送りませんか?
在校生一同みなさんの入学を心よりお待ちしております!!